



挨拶する阿部会長

集会の冒頭、主催者を代表して阿部日本退職者連合会長は「①熊本・東日本大震災を風化させない
②社会を継続③社会保障費の給付減額や負担増の施策に対峙し、安心出来る生活の実現④当面100万組織の達成」に全力を傾注と挨拶。引き続き、神津連合会長、来賓の野田民進党幹事長、福島社民党副代表、及び福祉団体の代表から連帯と激励の挨拶を受けました。

暮らしを守るため粘り強く闘う

全国高齢者集会開催

2016全国高齢者集会は「誰もが生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう」をスローガンに、9月28日(水)午後1時から東京・文京シビックホールにおいて、全国の仲間1800名を集め開催されました。

川奈神
シニア連合



第58号

2016(平成28)年10月

横浜市中央区山下町24-1
ワークピア横浜 連合神奈川内
神奈川シニア連合
TEL. 045-211-1133
発行責任者 池田捷治

活動を継続②社会保障費の給付減額や負担増の施策に対峙し、安心出来る生活の実現③当面100万組織の達成」に全力を傾注と挨拶。引き続き、神津連合会長、来賓の野田民進党幹事長、福島社民党副代表、及び福祉団体の代表から連帯と激励の挨拶を受けました。

そして、菅井日本退職者連合事務局長の基調報告を全体で確認し、福島県、熊本県代表から被災体験や風評被害の状況、福岡県高退連会長、JR総連OB連絡会から社会貢献活動の報告がありました。

内閣府「平成28年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動

事例」の表彰・伝達式では、個人の部・UAゼンセン友の会の2名、団体の部・NTT労退熊本県支部に賞状と盾が手交された後、集会アピールとスローガンが満場一致で採択され「団結がんばろう」

産別代表者会議開催

今後の取り組みに総力を結集

神奈川シニア連合産別代表者会議は、5月30日(月)午後2時からワークピア横浜で開催され、構成組織代表など41名が参加しました。

第一部では、『最近の悪徳商法の手口と対処方法』について、澤谷紀子消費者生活専門相談員から、「様々な勧誘の電話対応は、必要なものは理由も言わず断り、即電話を切る」「おかしいと思ったら、すぐに消費者センターに相談する」等の講演を聞き、だまされる側の心理を痛感しました。

第二部では、①昨年11月27日に開催したシニア連合第24回総会以降の活動経過の承認、②次回第25回総会に向け政策・制度要求と提言などの諸課題を一体となつて取り組むことを意思統一。引き続き「介護保険の一部見直し」について新田シニア連合顧問から講演、「連合の活動状況」について渡部

を三唱し集会は終わりました。その後、会場から西神田公園までデモ行進を行い、東京ドーム周辺を行き交う人々にアピールしました。

連合神奈川副事務局長から報告を受けました。

会議終了後に設定された懇親の場では、終始笑い声がする和やかな雰囲気が続く中で、シニア連合の更なる発展を誓い散会しました。

神奈川シニア連合 第25回総会告示

神奈川シニア連合運営規則第7条に基づき、次により第25回総会を開催します。

日時 2016年11月29日(火)
13時00分受付
13時30分開始

場所 ワークピア横浜

戦争より平和・競争より共生

第26回神奈川シニア集会は、3月22日(火)午後1時からワークピア横浜において「あらゆる世代が手を結び、安心・信頼の社会保障制度を確立しよう!」をメインスローガンに、24産別の仲間、労金友の会、労福協、来賓など335名が参加し開催されました。

集会は、三部構成で行われ、第一部では、新田シニア連合顧問から「地域包括ケアシステムについて」低収入重度要介護者の療養生



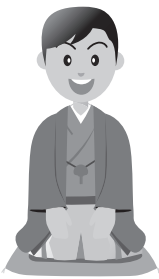
柳家小せん師匠の一席

活の実態など、生々しい熱のこもった講演が行われました。

続いて開催された第二部の集会では、永井シニア連合会長が7月10日投票票で行われた第24回参議院議員選挙協力へのお礼を述べた後「今後も安心・安全に生活できる環境、信頼できる政治の実現に向け、現退一体で取り組む」と力強く表明。そして、来賓の柏木連合神奈川会長、市川県労働者福祉協議会事務局長、林日本退職者連合副事務局長、神奈川県などから激励の挨拶を受けました。

そして「戦争より平和を・競争よりも共生を求める政策を掲げ、政策の発信力を高める」などの基調報告を全体で確認した後、集会スローガンとアピールを満場一致で採択しました。

第三部のアトラクションでは、柳家小せん師匠の軽妙な語り口が参加者の心を豊かにそして表情を穏やかにさせ、ゆったりとした楽しい時間を過ごしました。



2016平和行動IN根室に参加して

神奈川シニア連合副会長 高橋 敏男
(自動車総連日産労組エルタークラブ)

2016年9月10日(土)〜12日(月)、連合神奈川の参加者4名の一員として北方領土返還要求「2016平和行動in根室」に参加しました。

釧路空港到着後、阿寒バスにて一路根室へ。今夏、連続して上陸した台風の泥水などの痕が痛々しく、釧路湿原・河川・牧草地帯は目を覆うばかりの状況でした。

幸いに集会期間中は、好天に恵まれ納沙布岬・望郷の岬公園から函舞、国後の島を見ることができました。身近な北方四島が未だ遠い存在であることを実感し、日本固有の領土が旧ソ連に不法占拠され、71年が経過してもなお領土問題が未解決のままであることに強い憤りを感じたところです。

戦前から神奈川で生まれ育ち、広島・長崎での悲惨な事態と沖縄の基地問題は認識しつつも北方領土問題については希薄でした。今回の集会で心に強く感じたことは、出生地を追われた元島民の方々に今も明るい兆しが見えていないことです。同年代の元島民婦人が「他国の不法占拠により、ふるさとも財産も取り上げられ追わ



連合神奈川の参加者

れた悔しさ・せつなさ」の訴えに、目頭が熱くなりました。2泊3日の日程では、釧路から網走までの間における自然美、特に知床の山々と羅臼岳の原生林に生息するエゾジカに出会い心も和んだところです。そして、北方四島の返還を願う元島民はもとより道内の関係者及び全国から参加された連合の方と共有したことを持ち帰り、地域・所属組織の仲間・家庭において、機会あるごとに真の平和への思いを伝え続けることが使命であると心に刻みました。一国民として、北方四島が早期に返還されることを願い「平和ノサップ集会」に参加しての旅路所感とします。

介護保険の充実等を 行政・各級議員へ要請

神奈川シニア連合は、日本退職者連合第20回総会の決定内容を踏まえ、別記の「介護保険制度充実等に関する諸要求」を2016年

度の対行政要請として確認しました。要請は12月末を目途に民進党神奈川県連所属の国会議員・県・市・

町会議員、行政（神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市・藤沢市・寒川町・その他行政にも可能な限り）を行うこととします。本要請の取り組みは、4年目となり、昨年度も提出した「低所得高齢単身女性問題」も合わせて行います。

具体的な要請日は、連合神奈川に行政との調整をお願いし、民進党の各級議員とはシニア連合が調整。要請は、連合神奈川とシニア連合五役会メンバーが合同で行います。

「介護保険制度の充実」等に関する諸要請

神奈川シニア連合

1. 「未届老人ホーム」の継続した実態把握と利用者の支援対策について

平成28年1月末時点における未届施設数が明らかにされたが、未届施設は需要がある限り供給はこれからも増え続ける。経済的理由でやむなく無届施設を利用せざるを得ない弱い立場の高齢者の人権と安全を守るため以下の要求と提言をする。

 - (1) 未届施設の実態を常に把握できるよう継続した調査により、届け出促進に向けた取り組みを強化すること。
 - (2) 未届施設がガイドラインを満たしていなくても、まず届出を出させるよう柔軟な対応をし、それが困難であっても指導・改善を求め続けること。
 - (3) 未届施設であってもその存在を地域住民に明らかにし、地域ボランティアとの交流を図れるよう施設と住民との風通しを良くすること。
2. 地域包括ケアシステムの構築について
 - (1) 地域包括ケアシステムの構築が進められている中、医療機関と介護関係をはじめとした異職種間の連携づくりや、地域に存在する福祉資源の活用や生活支援の住民参加など、やるべきことは多いと理解する。システム構築のための担当職員を配置し、「住み慣れた地域で安心した療養生活」が送れるよう、更には「家庭での看取り」までのシステムを構築すること。
 - (2) 2025年の地域包括システム構築に向けた取り組み内容を開示すること。
3. 介護保険制度について
 - (1) 予防給付の新総合事業への移行について
 - ① 要支援1・2の予防訪問介護・予防通所介護サービスが2017年4月迄に市町村の新総合事業へ移行されるが、基準緩和による移行後における取り組み状況の内容詳細、及び事業費予算や有償ボランティアの単価を含め明らかにすること。
 - ② 制度改正を理由とした、サービス内容の変更や切り捨て、利用料の引き上げを行わないこと。
 - ③ 要介護認定にあたっては、現状の要介護認定システムを基本とし、認定申請時の基本チェックリストの強要やサービスの振り分けを行わないこと。
 - (2) 認知症施策の拡充
 - ① 新オレンジプランの基本理念「認知症の人が住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現をめざす」を踏まえ、地域のなかで認知症の人とその家族を支える「見守り・声掛け・相談・支援」の仕組み作りを推進すること。
 - ② 医療・介護連携による認知症の早期診断・早期対応の体制整備を図ること。
 - (3) 安心して暮らすことのできる居住の場の整備
 - ① 特別養護老人ホームの整備・拡充（増設）を図るとともに、個室・ユニット型居室の整備等居住環境の改善を図ること。
 - ② 低所得要介護者が安心して暮らせる場を確保するため、養護老人ホームの整備・拡充（増設）と施設の機能強化や職員配置を改善すること。
 - (4) 介護労働者の処遇改善と人材確保
 - ① 2015年度改正の介護報酬処遇改善加算の実施状況を把握・分析するとともに、事業者に対して人材確保に資する各種交付金等も積極的に活用して実質的な処遇改善を促すこと。
 - ② 介護職場における労働法令違反を根絶するため、労働行政と連携し雇用条件・環境の点検・改善の取り組みを強めること。
 - (5) 被保険者・市民参画の促進

介護事業計画や総合確保基金の活用計画等、各種事業計画策定にあたっては、介護保険の被保険者・保険料を拠出する労使代表等の市民参画体制を確立すること。
 - (6) 国への働きかけについて5点（内容省略）
4. 地域公共交通の充実について
 - (1) 2013年12月に制定された交通基本法の趣旨を踏まえ、高齢者や障害者の通院、日常の買い物等交通弱者の生活に必要な移動手段確保にむけ、地域交通の充実を図ること。
 - (2) 自治体における総合計画や都市計画については、地域の活性化や地域事情を踏まえた交通サービス、バリアフリー化、シームレス化等、安心・安全に住み続けられるまちづくりに向け、住民のニーズを反映した交通政策を策定し展開すること。

以上

ふれあいの仲間たち 56

発足して11年が経ちました

神教協・神高教シニア運動 神奈川シニア連合 幹事 三橋 正俊

私たち神高教シニア運動は、2006年5月に神高教(神奈川県高等学校教職員組合)の運動をサポートする組合員退職者の組織として発足しました。まだ11年という若い組織です。発足と同時に、すでに神奈川シニア連合に加入している先輩の退女教のお世話で、神教協という産別組織で仲間入りをさせていただきました。産別としては、各県の教職員組



第10回記念総会

合の退職者組織で構成されている日本退職教職員協議会(日退教)にも参加しています。日退教は結成40年を経過しており、神高教シニア運動の役員でもある元神高教委員長の竹田邦明さんが事務局長を担っています。日退教は退職者連合に加盟して地公退の仲間とともに運動しています。

退職後も再任用の道を選び、職場で活躍している人も多くいます。今後、毎年多くの大量採用時代の退職者が続き、再任用期間が最大5年と延びたこともあって、現職者の中の退職者の比率も高まっています。教育を取巻く情勢はますます厳しくなり、平和・人権・環境課題も山積です。また、年金・医療など高齢者の課題も多く、今までも様々な運動に取り組んできた組合員が、更に神高教とともに運動を継続していくことは大変意義深いものと考えています。毎月1回の役員会と年1回の総会と交流会を開催しています。昨年は第10回記念総会を開催しました。交流会には退職予定の現役組

合員も一緒に参加し、退職後の生活などを語り合っています。また、会報を年3回発行し、総会の出欠ハガキに寄せられた会員の声を会報に「会員の今」として掲載し、「シニアライフ」コーナーでは毎月会員のユニークな活動を紹介してきました。また、退職した会員に退職後の生活についてのアンケート

施設見学会を 開催

JITRECを見学

神奈川シニア連合施設見学会交流集会は、6月6日(月)午前10時から、(株)総合車両製作所【JITREC】並びに労組の絶大な協力を得て行いました。

(株)JITRECの前身は、金沢八景の旧東急車両製造(株)であり、2012年に新たに発足した会社です。

各産別が事前に登録したメンバー38名は、10時から会社の「アルミ車両の新幹線やステンレス車両等を製造しており、ステンレス車両製造はパイオニアである」「安全は最優先であり、説明者の指示は厳守」等々の説明を聞いた後、ヘルメットとレシーバーを装着し、工場内に出発しました。クレーンによる車体移動やステン

を実施しています。あまり無理をせず、上記課題の集会や行動に参加してみるなど自分の都合に合わせて気軽に参加できる組織にすることを念頭に置いています。これからも神奈川シニア連合の一員として、多くの仲間とともに各種行事に参加していきます。よろしく、お願いいたします。

レスの溶接、複雑な電気配線、未公開の車両製造現場などを見学。見学後は、シーサイドラインで八景島に移動し、バーベキューに舌鼓を打ちながら参加者の交流が行われました。



各産別からの参加者